

平成25年度女性まちづくり講座 まち・きらきらセミナー 第4回概要

日時：平成25年10月11日（金）18：00～20：00

場所：三沢市総合社会福祉センター 2階 多目的ホール

1. 講師	NPO法人 あおもりNPOサポートセンター 理事長 田中 弘子 氏
2. 内容	<p>◆三沢市協働のまちづくり市民提案事業について◆</p> <p>～市民協働推進係 吉田係長から～</p> <ul style="list-style-type: none">・市民提案事業は平成21年から実施。一次募集は6月審査、二次募集は9月に審査。・全部で11団体の採択。・市民提案事業とまちなかにぎわい事業の2つのコースがあり、90%以内の補助。・今年度から事前に話し合いをして申請するようにし、来年度も事前の話し合いを経てから申請するようにしたい。・審査方法の予備審査は広報広聴課で行い、課の方で補助対象事業か判断。本審査のプレゼンテーションは審査員の前で想いを伝える場となる。書類審査とプレゼン審査を合わせて点数をつける。・書類審査で自分たちの計画を文字で伝えられるかどうか重要。・仲間の団体さんや行政と組んで事業を行っていくことが大切。・収支予算も大切。継続していくための指針になるため、事業の信頼性につながる。・広報広聴課に連絡いただければいつでも対応する。 <p>～今年度市民提案事業で採用された岩本さんから～</p> <ul style="list-style-type: none">・いろんな団体に所属しており、3つの団体で5回申請をしている。4回は採択されたが、1回は落ちている。・何をやるにもお金が必要となり、お金をいただくことで活動に幅が広がる。・申請書を書くことで、自分たちの想いを再認識。・プレゼンは勇気が必要だが、それを乗り越えることで、自分の想いが強くなり、やる気が膨らむ。・他の団体とのつながりもでき、そして活動が大きくなります。・みちのく・ふるさと貢献基金に8月申請し、おととい合格の通知がきました。58万円の申請で、40万円しかでず、残り20万円をどうするかを話し合っているところ。 <p>◆助成金を獲得するためには◆</p> <p>～田中先生から～</p> <p><国際子ども文化芸術交流実行委員会、国際子ども文化芸術 Junior Artist Festival></p> <ul style="list-style-type: none">・助成金の申請は何度も落ちているが、落ちることを恐れてはだめ。どこがだめだったのかを確認。・他のところから助成金をもらっていれば、出ないといところが多いのでよく調べなければいけない。・100パーセント助成金はないので、必ず自分たちで出さなければいけない。ここで、基金という集め方が大事。・助成金を出してくれるのが国の場合と、県の場合がある。また、保険会社が社会貢献として助成金を出している <p><こども☆ひかりプロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none">・このプログラムで社会的な力のアップとして住友商事ユースチャレンジ助成金、フォーラムやフェスティバルの開催として子どもゆめ基金、報告書の印刷費は全労災、と分けて補助金等をもらった。 <p><青い森地域創造基金></p> <ul style="list-style-type: none">・助成金の支援を行っている。NPO法人が助成金をだすことを市民ファンドと言う。

<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は2団体に助成。 ・寄附してくれた方が、税金の減税をしていくことが当たり前に行えるようにするのが、認定NPO法人の設立となった。 ・インターネットで助成金を検索するとたくさん出てくる。大きいところだと、キリン福祉財団、トヨタ財団、日本たばこ産業があり、プレゼンが必要。 ・男女共同参画の分野は助成金が少ない。 ・子どもや文化スポーツの助成金が増えている。 ・社会貢献をする会社は信用性が高いと世界的に言われ始め、企業が社会貢献をする1つの方法として助成金あげられている。 ・助成金を得るためには、各企業の想いと、申請者の目的が一致しないと難しい。可能な限り、長期的に計画を立てて継続しないと獲得しにくい。 ・お金を自分の懐にいれるような企画はすぐに見抜かれる。人権費に予算をたくさんつけると難しい。 ・良いところはたくさん真似をして、勉強が必要。助成金申請をやってみて、訓練してみると良い。 ・プレゼンは度胸。おどおどしていたらだめ。自分たちの想いを伝える場なので、その人の笑顔、情熱、あふれる思いを伝えましょう。 <p>11月は、まとめの発表をし、各グループからここを直した方がいいのではと意見をもらい修正を行う。今日はその発表段階の前までもっていって行く。英語でレシピの班は、今日は調理。ここで一番大事なのは最初に立ち上げた目的を頭に置くこと。今、それが欠けると違う方向にいつてしまうので、何でこれをきらきらセミナーでやろうと思ったのか、目的をもう一度確認することが大事。みなさん、完璧でなくていいので、面白く楽しくやってください。その思いをみんなで共有できるようにやってください。</p> <p>◆グループワーク◆</p> <p>3つの班にわかれ、各グループの話し合いを進めた。</p> <p>～各班での話しあった内容～</p> <p>【斗南藩と六十九種草堂】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居の制作方法、次回の発表内容について。 <p>【温泉イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なコースの発表の方法について。 <p>【英語でレシピ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうめんおいなり（ごぼう入り）、にんじんパンケーキを試作&試食。 <p>～田中先生より～</p> <p>次回は発表。いろいろ意見をもらい、もう一回話し合い、そして最後にもう一度発表。それぞれの班の人に聞きたいことがあったりと思うので、遠慮なく問いかけをしていきましょう。自分のところだけではなく、3つのグループが共有する。</p> <p>◆閉会◆</p>

以上、平成25年10月11日（金）開催の「まち・きらきらセミナー」の概要報告といたします。